

# 守口市歌でエールを

昭和26年11月1日、守口市市制施行5周年を記念して、守口市歌は生まれました。

いま、新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の皆さんもさまざまな我慢を強いられていることと思います。1日も早い事態の終息を願って、いま一度、守口市歌を知り、歌うことで、互いにエールを送りませんか。

## 守口市歌1番歌詞

のぼる高瀬の東雲に なりわいしげく人さわに  
輝く麓はてしなく 生産日々に澆漑と  
賑い日々に守口市 見よ守口のこの力

昭和26年は高度経済成長期のさなか、守口市の人口も急激に増加し、市内を見渡すとたくさんの家の屋根(葺)が並んでいる様子が描かれ、そこから守口の「人」を中心とした力強さがうたわれています。

曲は高度経済成長期の市や国の躍動感や将来への明るい希望を含んでおり、この状況は、新型コロナウイルス感染症に力強く立ち向かい、未来を力強く生きようとしている今の私たちの姿と重なる部分があります。

問 広報広聴課

TEL 06-6992-1353

## 作曲者の紹介

### 作曲者が連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルに

令和2年3月30日から放送が始まった連続テレビ小説「エール」は、音楽で人々を励まし、心を照らした夫婦の波乱万丈の物語です。このドラマの主人公・古山裕一は実在の人物、故古関裕而氏をモデルにしています。古関氏は、その人生で5000曲以上の曲を作曲し、代表的なものでは、1964年東京オリンピック開会式の入場行進曲である「オリンピック・マーチ」や夏の甲子園のテーマソング「栄冠は君に輝く」、関西人ならなじみ深い阪神タイガースの「六甲おろし」の他、「守口市歌」も作曲されました。

令和2年の夏は、東京オリンピック・パラリンピックが盛大に開催され、日本中が選手に熱いエールを送り、文字通り「熱い」夏になるはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、残念ながら開催の1年延期が発表されました。

延期となる1年間を引き続きトレーニングのために頑張る選手に、そして日々を頑張る皆さんに、互いにエールを送って過ごしましょう！



故古関裕而氏

## 防災行政無線で 守口市歌を放送

現在、毎日17:30に本市の同報系防災行政無線から「夕焼け小焼け」を放送しています。

この放送内容を令和2年6月3日(水)から、市民の皆さんにより守口市歌と守口市に愛着を持ってもらえるように、守口市歌に変更します。



## 防災行政無線はどのような 場合に放送されるの？

防災行政無線は、大地震発生といった非常事態や、洪水発生の危険性など、市民の皆さんに「命の危険」が迫っていることをお知らせするために放送します。この放送が流れたら、すぐに身の安全を守るための行動をとってください。

なお、放送内容が聞き取りにくい場合は、まず身を守る行動をとった上で、次の番号で放送内容を確認してください。

TEL 06-6992-1910

(下一桁3,4,6,7,8の番号でも確認可能です)

# 浸水への備え

最近台風時でなくとも、短時間で大量の雨が降る「集中豪雨」が多発しています。

また、守口市は早くから都市化したため保水力のある土地が減少し、道路もほとんどがアスファルトです。このため降った雨は短時間で下水道管に流れ込みます。市内のほぼ全域は公共下水道が完備していますが、その処理能力(管の太さなど)を超える雨が発生すると、これを排水しきれない「内水浸水」が発生してしまいます。

問 下水道管理課・維持担当 TEL 06-6992-1752

## どのような時に浸水が起きるのか

守口市のある東部大阪地域は淀川と寝屋川、大和川に囲まれた河川より海抜が低い平野部です。雨水が自然に川に流れ込まない「内水域」ともいいます。

このため市では下水道管で雨水を集め、ポンプにより強制的に河川へ排水しています。集中豪雨によって下水道の排水能力を超えるような雨が降った場合には、雨水を排除することができなくなり、浸水することがあります。

大阪府も地下河川(完成までは調整池として活用)の整備を進めていますが、市でも10年に1度発生すると言われる降雨(1時間あたり54.4mm)に対応する下水道施設の整備を進めています。

## 浸水時の行動と心得

### ▽情報の収集と自主的避難を

テレビ・ラジオ・インターネットなど、また消防団や広報車による呼びかけにも注意してください。最新の気象情報・避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

### ▽助け合って避難を

避難行動に時間を要する人に声をかけるなど、隣近所で助け合って避難しましょう。

### ▽避難する前に確認を

避難前には、ガス栓を閉めテレビなどのスイッチを消し、電気ブレーカーを落としましょう。

### ▽足元に注意を

くぼみや溝を確かめるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。

また、避難時はスニーカーを履いてください。長靴は水が入ると歩きづらく危険です。

### ▽徒歩で避難を

車での避難は浸水すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。

### ▽2階以上へ避難を

浸水がすでに50cmを上回っているとき(ひざ上までが浸水)は、非常に危険を伴います。自宅や高い建物の2階以上に避難し、水が引くの待ちましょう。



## 土のう・ファミリーポンプの貸し出し

市では、浸水被害防止用の土のうと、浸水被害の発生時に床下に入った水を排水するためのファミリーポンプの貸し出しを行っています。

注 貸出数に制限があります。

## 雨水ますの注意点

大雨時の浸水被害を軽減するため、下水道への入口である「雨水ます」(写真1)について、市民の皆さんの協力をお願いします。

▽雨水ますの上に植木鉢などの物を置かない

▽ごみや砂などを掃きこまない

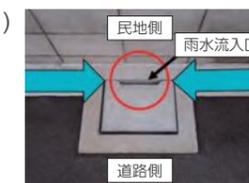
▽ふたが逆向きでないかを確認する(写真2)

ふたが逆向きになっていると雨水がスムーズに流れ込みません。

また、特に狭い道路では、歩行者や自転車の通行に影響が生じます。

ふたが逆向きに設置されている場合は、下水道管理課へ連絡してください。

正しい設置(写真1)



誤った設置(写真2)

